

用途

非接触（スクリーニング）

業種

医療、福祉



株式会社シャンティ

<http://shanti-robo.co.jp/>

TEL : 03-6873-6419

Email :
info@shanti-robo.co.jp

使用ロボット

メーカー名 :

(株) MJI
PLEN Robotics (株)

ロボット名 :

Tapia
PLEN Cube

導入先

場所/施設名 :

岡山中央病院

ユーザー名 :

岡山中央病院

ユーザーの声

【岡山中央病院の患者様の声】

出産後の定期健診で来たのですが、こういう時期で少し不安だったのですが、（出産前に産婦人科病棟にいたロボットが）皆さんに入り口で感染症の問診をしてくれていて安心しました。（小児科受診：20代女性）

引用 : ROBOT MEDIA
<https://robot.mirai-media.net/tapia/>

導入の背景

以前から産婦人科の外来でこのロボットを使い、妊娠歴の有無などをたずねていたが、県内でも新型コロナウイルス感染者が相次ぐ状況となり、医療現場でのクラスターや医療崩壊などを危惧し、導入を決めた。

導入の目的

非接触での感染症周知と院内感染の防止。

導入の内容

感染症対応ロボットとしてはトータルで系列医療機関と合わせて5台運用している。



写真引用 : ROBOT MEDIA
<https://robot.mirai-media.net/tapia/>

導入の特長

サーモ体温測定との連携・問診・トリアージ・スタッフとの通話機能があり、非対面で対応できる。これまでの商品はサーモでの検温は可能なものがあったが、人を配置して誘導する必要があった。ロボットを利用することで、無人でも検温・問診の誘導が可能になった。

効果

岡山県内では他病院でクラスターが発生しているものの、岡山中央病院では導入の2月以降まだクラスターは発生していない。（2020年11月3日現在）

リスクアセスメント対応

滞留によるり患を防ぐために、一定間隔で並ぶよう床にテープで目印をつける。ロボットが台から落ちないように、結束バンドで固定。